

会 議 録

件 名	境原小学校・城山小学校保護者説明会・意見交換会（第2回）
日 時	令和7年2月8日（土）午後2時5分から午後3時15分まで
場 所	教育文化会館3階第1研修室
参加者	保護者 8名（家庭数 8） 今田教育長、簗下委員、岡教育部長、阪口参事、大谷学校教育課長、 丸山教育総務課長、東学校再編推進係長、東川、中山

教育長挨拶、資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。

なお、出席した保護者には、資料と合わせて、意見等を記入できる二次元コードを用意しました。欠席した保護者にも二次元コードにて、資料を閲覧、意見等を記入できるようにしました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1－1. 1点確認させていただきたいんですけども、今回の資料ではちょっとなかったことで、確かその境原小学校の統合することに対する反対の署名活動というのが1500筆ほどあったと思うんですけども、今回意見交換会に対する回答だったんですけども、この反対署名活動を受けて最終的にこれ統合しますという話ですが、それは教育委員会としての答えということでもいいのかということと、あとは今回14年度まで延ばす結果になったんですけども、この反対署名活動を受けて、地域の方は反対されてるんですけども、教育環境を維持するためにはここまでは延ばしてあげることができるんですけども、最終的にやっぱり統合やむなしかなということで反対の署名もあったので14年まで延ばしました、みたいなそういうような検討というか要素があったんでしょうか。

（教育委員会）

ご意見ありがとうございます。まず1点目の署名活動の取扱いですけども、今回反対の署名をいただきまして、内容としたら学校再編を反対する撤回という内容と住民の意見を聞いてということだったんですけど、教育委員会だけじゃなくて橋本市長にも提出されたものでございました。ですので、今回、教育委員会の2期方針の決定の案を最終案とさせてもらっているんですけども、その署名の取扱いは、後の推進計画の学校再編方針を方案した市の決定の際に取り扱いさせていただきたいと考えています。

2点目の14年度まで延ばすという理由について、この署名があったからかということにつきましては、直接そうではなくて途中で説明させてもらったんですけど、この紀見東中学校区は、当初境原小学校の東側斜面を対策工事をせずに危険を回避するということで安全な方に移っていただきたいという方針を、皆様の意見をいただいたことで対策をする方向で動いています。そういったこともありまして、皆様の思いとか児童のこともありまして、

14年度の目標に置き換えているという状況でございます。

1－2. ありがとうございます。もう1点が、この保護者の方の懸案事項、紀ノ光台の方がどちらに通うのかという選択の問題が、結局この再編統合を賛成するか反対するかに大きく関わる要因の1つだと思うんですけども、そこは結論出さないまま、決まってませんという中で、先に再編をやりますという形なので、統合を決めてから結果的に実は皆さん紀見東に行ってもらいますとなったら、いやそういう条件だったら反対だというようなことが起こりうるのではないかと思うんですけども、その辺はどのようにお考えでしょうか。これ、学校の取組の境原太鼓の話も多分一緒だと思うんですよ。学校が持っている文化を持っていてくれるんならば賛成はするけども、それがなくなるんだったら境原残してくれよという親御さんもおられると思うんですけども、まだ条件が不確定な中で決めていくのは、僕には腑に落ちない部分がございますけれども、いかがでしょうか。

(教育委員会)

1点目の紀ノ光台の校区変更の進め方なんですけども資料30ページです。学校再編とは別にこの校区変更を考えていきますという内容を示させてもらおうかと思うんですけど、ただ子供たちが通う学校の場所が変わるのは関係することになります。だからその点はありますので、今は基本方針の変更後、市としての目標年度とか場所とかが確定するその計画に並行して、紀ノ光台の校区の変更を考えさせていただいて、その計画決定後に示したいと思います。ただ、保護者には、教育委員会として、こういった考え方を持っていますというのはお示しできたらなというふうに考えてます。やはり学校区というのは、教育委員会が子供たちの学ぶ権利ということで設定するんですけど、紀ノ光台の方のご意見をお聞きせず、いつからこっちですよ、そんなことはやはりふさわしくありませんので、地元の保護者の方のご意見をお聞きしながら、この変更の進め方、いろんなパターンありますので考えていきたいと思っています。

それから、2点目の各学校の文化のことについてなんですけども、計画決定してから、どのような新しい学校を作っていくのかを統合準備会で検討していくのが前提になるんですけど、すべての各学校での取組を、新しい学校の授業時間内のカリキュラムにするのは限界があると思います。ですけど、地元やからできたというご協力いただいている方が、やっぱり関わってくれてたら、こういった形で引き継いでいけるのかというところを、学校の先生を含めて、地域の方も含めて、また検討させてもらいたいなというふうに考えています。

1－3. 先ほどの説明だと、一番最初の説明で、これからの時代は多様性の社会だっていう話で、いろいろなそういうものを認めていくんだっていう中で、この統廃合すると地域の特性は消えていくという話をされてるわけですよ。多様性がなくなっていく話をされてるので、そこはちょっと僕にはいかがなものかなというふうなところがあって、やりたいこととやっтерことが全部ちょっとずつ、ずれていくように流れるので、そこは、ここで議

論してもあれなんで、後で整理してやっていただければなというふうに思います。

あと、先ほど署名の話なんですけど、宛先は市長と教育長あてではなかったですかね。教育長はこれには関わってるわけですよ。だから教育長に提出されてるけども、署名は受けたけども14年度には統合しますという回答ですということよろしいでしょうか。

(教育委員会)

教育委員会としては、現在そういう方針を持っています。

1－4. 承知いたしましたありがとうございます。

2. 今日、ちょっとびっくりしたのが、城山小の保護者がほぼいないという状態にちょっとびっくりしまして、私自身保護者同士で話すきっかけで、小学校に上がれば上がるほど、幼稚園のときほどないなとは感じてはいるんですけど、その少ないその保護者と会う機会であっても、この話はあまり出てこないんですね、城山小学校の保護者の間では。なんでかなあと考えたときに、15ページにある統廃合と再編統合の違いを理解できてないのかなというのもあったんです。城山小学校の保護者としては、すごい言い方悪いかもしれないですけど、境原小の子供たちが来て、一緒に子供たち生活するんやっていうぐらいのスタンスでしか考えられてないのかなというのがあるって、城山小学校としてのシステムじゃないですけど、今と同じ生活がなくなる危機感というものではないですけど、その理解がないのかなというのがあるって、その統廃合と再編統合の違いを、もうちょっと、その不安を煽るわけではなく、ちょっと前に出していただいて、境原小の保護者の方だけが大変なのじゃなくて、城山小学校の保護者の人もちゃんと考えなあかんというのを、もっと打ち出してもらえないのかなと思いました。何か、入ってきた瞬間に知った顔も誰もいてないですし、人数も少ないですし、なんでかなというのがあるって、受け身だけじゃ駄目と思うんですよこの話は。なのでもっと、不安をあおる言い方ではなく、考えなければいけないということをもっと前面に出していただけたらなと思います。

(教育委員会)

ご意見ありがとうございます。資料15ページです。1回目の説明会を回らせてもらってるときに、おっしゃっていただいたようなことを感じたので、このページを入れたんです。規模の大きい学校に小さい学校は吸収されるというんではないんですよ。2つの学校の良いところを、場所は提示させてもらっておりますけども、新しい学校を作るんですというところで、ちょっと図示させてもらいました。おっしゃるとおりで、この資料35ページにあるんですけども、新しい学校づくりの計画ができてから統合準備会ということで、例えば校歌、制服、体操服といろいろ考えていく中で、それは双方の保護者さんにも入っていただくんです。この四角の赤い字で書いてあるところに、メンバーで保護者(PTA)と書いてあるところには、双方の保護者さんの代表の方にも入っていただいて、数年後にどういったものを持っていくかというところに携わっていただきたいと思います。こういった再編は、

境原太鼓はなくなるとかというイメージあるかもしれませんが、再編の方はポジティブに持って行きたいんです。次どんなことを、友達増えてとかというところに持っていきたいんで、そういったところを、この統合準備会でお知恵拝借させてもらいたいなと思っています。

3-1. 1点確認で余計なお世話かもしれないんですけども、これ統合したときは、統合される側の廃校となる学校の制服とかだけを保証すればということなんですけど、再編となるとどちらの小学校も一応消えるわけなので、城山小学校の児童さんの制服もすべて市の費用で負担していただけたらというそういう認識なんですけども、そうすると制服、帽子、体操服、上靴すべて市の方で面倒見てもらえる話となって、あわせて校歌とか校章とかとなると学校の設備の費用も結構な投資額というか費用がかかってくるので、私はちょっと仕事からそういうことは気になるので、その統合でやったときのかかる費用と再編をしたときの費用、これの差はかなり大きく出てくるんじゃないかと考えるんです。この辺のそこまでまだ話は聞いてないかもしれないんですけど、どれぐらいその差額が出るのかというのも、実は気になる場所ですので、概算でわかれば教えていただければと思います。

(教育委員会)

費用面のことですが、現時点で校歌、校章を変更した場合にどれぐらいかかるかというのは試算はできていない状況です。校歌もどういった形で作っていくか、誰かにお願いして作るのかとか、そういったこともありますので、そこまでの概算の費用まではまだ出ていない状態です。今後、この統合準備会などで、制服にするのか、どういった校歌にするのかというのが決まっていく中で出てくるかなと思います。

3-2. わかりました。ありがとうございます。ただ1点申し上げておくのは、あくまで再編という建前を取るのであれば、城山小学校の児童の制服もちゃんと面倒見ないと論理的におかしくなりますよということだけは承知いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見、並びに欠席された保護者から提出いただいた意見の内容です。

4. (二次元コード)

いつも学校教育、並びに学校編成にご尽力いただきありがとうございます。当方は五條市の出身ですが、橋本市は小学校が多すぎるように思います。城山小学校と境原小学校、隅田小学校とあやの台小学校はそんなに離れていないように思います。当方が通っていた小学校では、バスを使って通学していた児童もたくさんおりました。少子化が進む今、統廃合は致し方のないものと考えております。しかしながら、境原小学校は児童数が増加しているにも関わらず廃校となることに納得されない保護者の方々が多くいらっしゃるのも事実です。当方としては、橋本市及び教育委員会は「学舎がなくなる」ということにもう少し思いを馳せて寄り添う姿勢が足りないように感じます。35年ほど前の話になりますが、当方の通っていた五條市立宇智小学校（現五條東小学校）の裏の崖が崩れたことがありました。しかし嚴重に補強工事を行うことで現在も使用されております。どのような工事を行いどの程度の費用がかかったのかなど問い合わせられてはいかがでしょうか。